東京都が来年度のカジノ申請断念

日本共産党都議団は、歓迎します

東京都は、日本共産党都議団のヒアリングに対して、「来年5~11月の国のカジノ・IR 再募集には申請せず、申請に係る予算は要求していない」と明らかにしました。これを受けて、共産党都議団は11月19日に談話を発表しました。翌20日には、小池知事が記者会見で「申請を行う予定はない」と表明しました。

カジノの誘致キッパりやめよ

カジノ誘致反対の請願や署名は都議会に何度も提出されています。今月16日には「カジノいらない! 東京連絡会」が小池都知事や地元江東区長に要望書を提出し、都庁内で記者会見を開きました。こうした都民運動が、申請断念に追い込む大きな力となっています。

都議会でいっかんして追及

日本共産党都議団は、石原都政がカジノ誘致を計画して以来、いっかんして誘致反対を訴えてきました。最近も定例会ごとにカジノ誘致の問題点をくり返し質問しています。

また、最有力地とされる臨海副都心青海地区の現地調査も行い、9月の代表質問では「申請しない」と表明するよう知事に求めました。



現地調査 Movie

来年度のカジノ・IR 申請を断念したのは、大きな成果です。一方、都港湾局はカジノ・IR 誘致についてメリット・デメリットの両面から総合的に検討すると調査予算は要求しています。

ギャンブル依存症など、人の不幸の上に成り立つのがカジノです。住民福祉の増進を使命とする東京都が、公共の福祉に反するカジノ誘致を進めることは許されません。都がカジノ誘致を断念するまで、引き続き都民の運動と連携して取り組んでいきます。

都議会議員 北多摩第四
原 のり子



日本共産党都議団報告
2026年11月

ご意見・ご要望をお寄せください
163-8001 新宿区西新宿2-8-1 03-5320-7270 03-5388-1790